

特許出願中



装着感ゼロ！暑さ対策を進化させる

ヘルメット取付型熱中センサー

ネッシー

「熱SEE」誕生！

熱SEEとは...

深部体温の上昇傾向を推定し、振動アラートでお知らせする、ヘルメット取付型の熱中対策デバイスです。



特徴

1

ヘルメットに取り付けるだけ。
作業の邪魔にならない。

ヘルメットの内側に取り付けるだけ。
付けた後は視界に入らないため、作業時に邪魔にならず、
いつもの作業動作で運用可能。



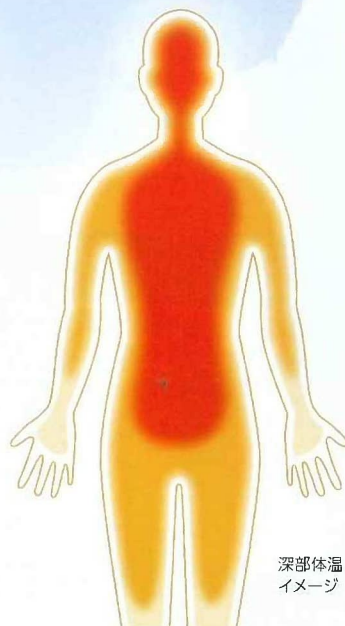
装着例

特徴

2

現場での動きにしっかり対応。
高性能センサー搭載。

止まったり、歩いたり、様々な動作のある作業現場でも、
正確に深部体温の上昇傾向を推定できる高性能センサーを搭載。
着用者の深部体温に近い前頭部で推定するため、
従来のウォッチ型より精度よく推定可能。



深部体温
イメージ

特徴 3

※報告書イメージ

測って終わりにしない、独自のデータ解析。

熱SEEは単なる“警告するデバイス”にとどまらず、“安全対策を検証できるサービス”です。シーズン終了後に回収してデータを解析。結果をフィードバックしますので、防暑対策の総括に使えます。

※希望者のみ。
※企業・団体を対象としたサービスです。



全体傾向分析

現場全体のリスク傾向を把握

- アラートが発生した台数と時間帯
- 環境によるリスクの高さ
- 外気温との関係

⇒現場全体の「危険になりやすい条件」が分かる

個体別分析

個人ごとの違いを可視化

- 同じ環境でも異なる体温上昇パターン
- アラート発生タイミングの違い

⇒個人差を前提にした対策検討が可能
※「個体別分析」は最大3名まで対応可能。

→今夏の振り返りと、来夏の対策づくりに役立つデータが得られる



技術開発・監修：根武谷 吾 博士(工学)

(肩書・所属)
島根大学医学部医学科先進医療電磁工学共同研究講座特任教授/
POSH WELLNESS LABORATORY株式会社代表取締役
※肩書の記載は個人の所属を示すもので、島根大学による本製品の承認・監修・保証を示すものではありません。

電気インピーダンス測定を用いた肺・循環機能のリアルタイムモニタリングや、人工肺 (ECMO) の血栓検出など、医用生体工学・臨床工学を専門としている。

注意事項

- データ抽出希望の場合、専用QRコードから申請して頂いた後、お客様に製品を指定先へ直送して頂く必要があります (送料はお客様負担)。
- データ抽出は本体を破壊してセンサーを取り出すため、商品は使用不能になります。
- 産業廃棄物処理法により、使用不能になった商品は当社では廃棄ができません。データ抽出後は全て返却しますので、お客様で廃棄してください。
- データ解析サービスは2026年10月より受付開始予定です。 ※開始時期は前後する可能性があります。あらかじめご了承ください。

NEW! ヘルメット取付型熱中センサー 熱SEE

ST#9801

《製品仕様》

電池寿命	連続動作で約6ヶ月間動作 ※ご使用状況により6ヶ月より短くなる場合があります
製品サイズ	W109.5×D4.9×H37.4 mm (突起物除く)
質量	21g (本体のみ)
材質	(本体・取り付けベルト) シリコーンゴム (専用パッド) ナイロン68%、ポリウレタン32%
本体防水等級	IPX5とIPX7に準拠 (当社試験による)
付属品	専用パッド×2枚
梱包	100セット/箱
出荷単位	1セット

NETIS 申請中

《構成品》

